

既存施設ユニットケア先進報告事例

施設名称		きのこエスポール病院
運営主体		医療法人社団 きのこ会
施設所在地		岡山県笠岡市東大戸2908
電話番号		0865-63-0727
開設年月日		昭和59年5月1日
施設 の 現 況	定員	192床
	職員数	医師 9名 薬剤師 2名 作業療法士 4名 管理栄養士 1名 看護師 25名 准看護師 25名 ケアワーカー 54名 ソーシャルワーカー 6名 支援専門員 4名 運転手 4名
	人員配置割合	5. 4対1看護 3. 3対1看護補助 全体2. 1対1
	概要	痴呆疾患治療病棟 60床 介護保険医療施設 96床 新看護 精神3対1看護(B)6対1看護補助30床 重度痴呆デイケア(Ⅱ) 2単位 訪問看護ステーション 在宅介護支援センター 居宅介護支援事業所 グループホーム「あんき家」 グループホームラーゴム 通所介護「ローゴムⅡ」

<p>ユニットケアへ取り 組むきっかけ</p>	<p>痴呆性老人の異常行動とされるものは、患者さんの訴えの出発点で結果ではない事がわかってきた。</p> <p>患者さんの個性、人間性をみない集団の中では、その人間性や尊厳は埋没してしまうため、少人数でおこなうユニットケアをはじめた。</p>
<p>自分たちの考えるユニットケア</p>	<p>利用者一人ひとりの生活や生活の場がその人らしいものにするためには、より近くに寄り添える人がいる環境が整えられることが必要である。</p> <p>いつも同じ職員が対応することでプライバシーの保護や統一したケアが出来ることにより、安心して暮らしてもらえる様になる。</p>
<p>改修前の施設配置図</p>	<p>別紙1のとおり</p>
<p>現状の施設配置図</p>	<p>別紙2のとおり</p>
<p>居室の状況及び設置する設備・備品</p>	<p>4人部屋からすこしづつ分けていけたらと思う 生活歴が誰も違うように設置する物も当然 各家庭によって違って当たり前と思ひ、そこで生活をするユニットスタッフが決めるべきと思う。</p> <p>従って何をどのように配置するかはスタッフが決める 今まで自分が使用しているイス・筆筒を持ち込めれば良いの でしょうが 長期入院でなければ、なかなか持ち込めない</p>

<p>リビングルームの状況及び設置する設備・備品</p>	<p>ダイニングキッチンの傍でユニットの人たちと手作りのおやつやみそ汁を作る場所になっている。 そこにはテーブルや椅子・テレビを観る人もいれば洗濯物の片づけや少し大家族になっているが心地よい空間を作っている。</p>
<p>職員に対する研修</p>	<p>人間と人間とのコミュニケーションを第一に考え院内研修をしている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 数人の職員でグループをつくり、それぞれが1人づつお年寄りと向かい合いコミュニケーションしているところをビデオで撮影し、その画像をもとにディスカッションをする。 2. スウェーデンへ3週間ホームステイをしながらグループホームへ研修に出している。またスウェーデンより2人づつ6ヶ月間病院へ来られ指導してもらっている。





